



図書館つうしん



図書館トピックス

国東市読書週間

10月26日(土)～11月10日(日)です。市内3図書館(くにさき、武蔵、安岐)では大人向け、子ども向けのイベントやブックリサイクルも開催します。なお、国見図書館は11月19日(火)～12月8日(日)の日程で行います(詳細はホームページなどでご案内します)。

今年もやります「図書館まつり」

11月2日(土)午後2時～アストくにさきにて開催します。本と親しむ機会でもあります。ぜひ、ご家族でお越しください。



大人向け講座(工作教室)のお知らせ

11月10日(日)午後2時～武蔵図書館にて開催します。詳細はお問い合わせください。

臨時休館のお知らせ【国見図書館】

10月21日(月)～11月18日(月)まで改修工事のため国見図書館を臨時休館とします。なお、休館中は電話が不通となります。お問い合わせはくにさき図書館へご連絡ください。

図書館イベントカレンダー

- 10/10(木) あかちゃんおはなし会 午前11時 くにさき図書館(えほんのへや)
- 10/12(土) おはなし会 午前11時 くにさき図書館 武蔵図書館 安岐図書館
- 10/13(日) おはなし会 午前11時 国見図書館

休館情報

- 毎週月曜 図書館休館日
- 10/15(火) スポーツの日の振替休館
- 10/31(木) 月末整理日(※毎月最後の平日は整理日で休館)

図書館の推し本

『かざらないひと。』

赤江 珠緒 ほか/著 月と文化社

赤江珠緒、タサン志摩、高尾美穂、堀井美香、佐藤友子という今活躍中の女性の「私ものさし」で私らしく生きるヒントをテーマに書かれた本。読後勇気づけられたり、共感を得たり、考えさせられる本です。人、それぞれ環境も違いますが、かざらないひと5人からの言葉に耳を傾けてみませんか？

本文中に、本の紹介も少しあります。読書の手掛かりにはいかがでしょうか。また、読むと背中を押してくれる本です。

国見中学校(1年生)の推し本

『NHKオトナヘノベル SNS炎上』

NHK「オトナヘノベル」制作班/編 金の星社

『SNS炎上』はネット上のトラブルについて、カップル動画やネット炎上をテーマとした作品が集められています。この本は、NHKの視聴者から集められた実際の体験談で書かれているため、とてもリアルな内容になっています。



この本は、読みやすくSNSの使い方や怖さが分かります。本当にあった話だったので引き込まれ、改めてSNSの危険さが伝わりました。私は将来、人の役に立つ仕事に就きたいです。

国見中学校1年 桐畑 幸菜 さん

- 問 国見図書館 ☎82-1585
- くにさき図書館 ☎72-3500
- 武蔵図書館 ☎69-0946
- 安岐図書館 ☎67-3551

こころをつなぐ 人権シリーズ

「人権」について考える機会は身近にある

文責：教育委員会学校教育課 人権教育・部落差別解消推進専門員 田中 清照

我が家では、生前の母の影響を受け「NHK連続テレビ小説朝ドラ」を録画し、今や、夫婦で視聴するのが日課となっている。連ドラファンと言っている。そうはいつても「前の連ドラは何だった？」と二人してなかなか題名も思い出せない程度のファンなのだが。

前々回の「らんまん」が植物学者の牧野富太郎博士、前回の「アキラ」が歌手の笠置シズ子さん、そして、現在放送されている「虎に翼」(9月末終了)も実在の人物をモデルにしている。今回のモデルは、三淵嘉子さんという日本初の女性弁護士で、後に裁判官となり、女性初の裁判所所長を務めた方らしい。

法曹界で活躍した一人の女性の実話をもとにしたドラマらしく、これまでに多くの人権に関わるエピソードを取り上げている。

主人公は大正3年に生まれ、昭和7年に当時、唯一、女性に法学の門戸を開いていた大学に入学し、弁護士をめざす。当時の民法(家制度、男尊女卑の精神)の下で、現在ではとっくに想像もできな

いような「女性を取り巻く人権環境」に驚かされた。

ドラマでは、さまざまな立場を持つ登場人物たちの物語を通して、子どもや女性、そして、在日コリアン、障がい者、性的少数者の人権の問題。さらに、同性婚や夫婦別姓の問題、高齢者の人権の問題など、現代的な人権の課題をも取り上げている。

たびたび壁に墨書された憲法14条の条文が映し出されたことも印象的だ。日本国憲法の3大原則の一つが「基本的人権の尊重」である。しかし、その大切な「人権」について、また、「人権問題」について身近な問題として考える人は意外と少ないのかもしれない。

「虎に翼」に限らず、最近「人権の問題」について視聴者に訴えかける番組が多くある。何気なく視聴するテレビ放送からも、「気づき」や「学び」は得られる。そのような番組に出合った時には、家族で、友だち同士で話題にすることで、互いの考え方や行動を見直していきたいものだ。



教育の里 あらかると

国東小学校でチャレンジタイムを実施

国東小学校では、学校運営協議会の企画で月に一度、地域の方々によるチャレンジタイムを実施しています。チャレンジタイムとは、昼休みを活用して体を動かすきっかけづくり、地域の方々との関わりの中で、親しみ、楽しみを共有しながら軽スポーツなどを行うものです。

チャレンジタイムで体を動かすことで、運動を好きになり、また地域の方と触れ合うことで、あいさつや礼儀を含めたコミュニケーション力、豊かな人間性の育成につながっています。

当日は、1～6年生が学年を問わず交流し、汗びっしょりになりながら軽スポーツを楽しんでいました。

